
angelpriincess

瑠璃色

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

angel princess

【Nコード】

N7029Z

【作者名】

瑠璃色

【あらすじ】

もうすぐ、一端覧祭。

高校一年生になった御坂美琴のクラスが学園都市に嵐を巻き起こす！？

オリキャラがダメな方はバックをおすすめします。

作者の語彙はひっじょーに貧しいのでお気をつけください。

クラス（前書き）

はじめまして！

かなり文が苦手なので分かりづらいと思いますがよろしくお願いします。

美琴視点です。

クラス

「御坂ー！」

ただいま、私、御坂美琴は高校一年生で楽しく？スクールライフを送っています。

一緒に学校に通っているインデックス、統括理事会理事長に選ばれた当麻に一方通行。魔術師と戦う時の仲間の元春にエリツアリ、アイテムの面々にlevel5の面々。

楽しくない筈が・・・ない・・・んだ。

確かに魔術師と戦うのも大変だけど、でも楽しい筈なんだ。

長点上機学園。

もうすぐ、一端覧祭がある。

最もこのイベントはいわいる文化祭で、学校説明会もあるので入学希望者が対象になる。

ここ、長点上機も見学者獲得に力をいれている。

1-A

「クラスの出し物を決めます！」

委員長がハイテンションで言うど皆もイエーイ！とテンションをあげる。このクラスはエリートというより、バカやっている感じで楽しい。私もバカやってる一人なんだけどね！

「折角美少女と美少年がそろってるんだから、メイド&執事カフェとかは？」

流人の提案にほとんどが賛成し、決定した。あーまた接客担当だなーと憂鬱に思っていると

「美琴、きつと接客担当でしょ？」

と言われてしまった。声をかけてきたのは日ノ坂 沙羅（ひのさか さら）。さっぱりした性格でクールビューティーと言われている。モテている。level4の「風力使用^{エアロシユーター}」。

「みこちゃんは可愛いもんね」

この子は祭花 未玖（まつりか みく）。明るくて少し子供っぽい。歌が上手く、歌姫と呼ばれている。level4の「動物指揮^{アニマルタクト}」。

二人も十分可愛いのに……。だって一日に二人のペースで告白されているんだよ？ 私達は1Aの美人三姉妹と呼ばれているし。別に姉妹という訳ではないけど姉妹みたいでこのあだ名は三人とも意外に気に入っている。美人はいらない気がするけど。

「三人とも接客担当だろ？」

そうやってきたのは柊 流人（ひいらぎ りゅうと）。カフェを提案した子だ。彼はイケメンなのだが自覚なしで性格はふざけたことがあるけど、優しかったり、行動力があるいい子だ。level2の「空間掌握^{ルームアウト}」。

「そうだよ。未玖も沙羅も接客だよ？」

「それを言うなら流人と美琴もじゃない？」

四人でふざけて言っていたのだが実際に十分後に私、沙羅、未玖、流人揃って接客担当になってしまった。衣装とか接客の練習とか大変なんだよなー。皆、同じことを思っていたようで苦笑した。

一週間後

「流っち！（流人のこと）笑顔！」

「ミクリン！（未玖のこと）料理を落とさないで！」

接客の先生の委員長長の注意がどんどん飛ぶ。かれこれ一時間はこんな感じでさすがに・・・

「ずっと笑顔していろっっていわれても・・・」

「少し休ませてよー委員長」

未玖は頬を膨らませて、流人はうんざりしているような顔をして抗議する。委員長はしょうがないなーと言い、十分の休憩をくれた。

委員長は本名、平野 玲（ひらの れい）、性格はセリフだと真面目そうだが結構テンションが高く、お祭り事に目がない。人をあだ名で呼ぶ。level 4の「発火能力」パイロキネシス。

「みこちゃんは接客上手いなー」

「玲だって上手いじゃん。前、クレーム来たときとか凄かったよ？」

玲とは気が合う。玲も常盤台出身でどうしてもただ真面目なクラス

に馴染めなかったらしい。私も堅苦しいのとか、真面目なだけなのはつまらないと思う。今は凄く楽しいけどね。玲も楽しいみたい。

「みこといるかな？」

私を訪ねてきた人はインデックスだった。滅多に私のクラスに来ることなんてないのに。なんのようだろう？と不思議に思っているとクラスが騒がしくなる。これも銀の姫君と呼ばれているインデックスの力なんだろうなーとのんきに思っていると

「みこと！何ボーっとしてるんだよ？」

「あーなんでもない。で要件は？」

滅多に来ないインデックスの用なんて思いつかないし、なにか深刻なことでもあったのかな？と思っていたのだが

「みことおーとうまがとうまがね鈍くて気づいてくれないんだよ！」

たいしたことでは無かった。深刻に思うだけ無駄だったなーと呆れてしまった。インデックスをほっとく訳にもいかず話を聞いたのけど、結局勘違いし合っていただけだったので、

「素直に話しなよ？うち使っていいから」

とだけアドバイスし、戻った。まったく二人とも素直じゃないなー。青春おくってますなーと思ひながらアイテムの面々に連絡する。

『インデックスと当麻が素直になんないからちよろってこ入れない？』

少し待っているとprrrrrrprrrrr！携帯が鳴る。おそらくアイテムからの返信だろう。

『おっけいだにゃー。でどうする？』

返信しようとしたが

「みこちゃん！早く戻ってきて！」

と未玖に呼ばれてしまいできなかったのだが……。

そのあとが地獄だった。

ありとあらゆるメイド服を着せられ、礼儀作法をいらないようなことまで叩き込まれた。流人と未玖は終わってすぐにカラオケに行こうと言いつ出し、帰れたのは七時だった。

完全下校時刻を大きくオーバーしたことについては突っ込まないでほしい……。

能力の設定（前書き）

オリジナルの能力である、未玖の「動物指揮」^{アニマルタクト}と流人の「空間掌握」^{ルームアウト}の設定です。

能力の設定

「動物指揮」 アニメタルタクト

動物を従えることができる。

動物の声が聞こえ、level次第で動物の巨大化、最小化が出来る。

その動物が懐いているかどうかも関係し、巨大化などは自分のペットの方が成功率は高い。

未玖の場合、イメージ（自分だけの現実）をより鮮明にするため、巨大化させたりするときは掛け声のようなものを言う。

例「動物指揮！dynamics、フォルティッシモ！」
アニメタルタクト

未玖は歌が得意な為、この言葉は音楽用語で、意味は

未玖が強弱と言う意味のdynamicsを強弱でなく、大小と捉え、フォルティッシモは強くと言う意味だが大きくと捉えている。

なので大小⇨大きさを変えと言う意味で言っていて大きく⇨大きくするという意味で言っている。

「空間掌握」 ルームアウト

空間の把握、空間を創ることが出来る。

空間の把握はどこに誰がいて、その空間の大きさはこうということが分かる。

空間を創るというのは意味は違うが、ハルヒの作り出すようなもので、自分の創る空間の大きさの範囲に（自分を中心として）いるとその空間に入る。本人は入ることも入らないことも出来るが今の

流人のlevelでは不可能。創れる空間の大きさも制限がある。
空間を創るのを応用して足場を作ることが可能。

能力の設定（後書き）

分かりづらくてすみません

統括理事会（前書き）

今回は統括理事会、つまり上条さん達、ヒーロやlevel5のお話です。

訂正とお詫び

美琴達の学年ですが正しくは一年生でした。
誠に申し訳ありません。

統括理事会

統括理事会

現統括理事会は理事長、上条当麻、一方通行、理事の浜面仕上、麦野沈利、滝壺理后、土御門元春で構成されている。美琴は来期統括理事会採用が決定していて、今も手伝ったりしている。

このメンバーはよくも悪くも常識人が皆無だ。皆、どこか常識が欠落している。（一方通行達に言ったら怒られそうだが）

だからよく、行事の内容が変わる。今回も一端覧祭は入学希望者向けの行事だから外からの見学に来るのとまとめてしまおう！となった。要するに仕事をしたくない、めんどくさい、のだ。

よって結局理事長は仕事が増える訳で。

当日の来場者数を予測して、IDを発行したり、ゲートの機械を多く導入したり、発表をしたり。とにかくやることが多い。（サボリ気味な部下の所為でもある）

「りじちよーこれサイン」

「へいへい」

「理事長！予算案こんな感じでいいかにかー？」

「ン、OKだ」

「当麻、一端覧祭のプランまとまったよ」

「悪いな、御坂」

「うだー休みてえ」

「ちゃっちゃんとまとめろオ、浜面ア」

当麻が美琴に渡された一端覧祭のプランを見て

「御坂、このテレビで放送する超能力を使った出し物って長点上機と常盤台ってなってるけどどうやって決めたんだ？」

「抽選。これからその承諾貰いにいこうと思ってたんだけど」

美琴も苦笑している。抽選で五本指に入る学校が二つなんて偶然なのだろうか？

だが美琴は何事も平等に行うので嘘をついたとは思えなかったので当麻はま、いっかと承諾した。

「承諾してもらいに行くなら誰と行くか？」

さすがに高校生でどちらにも在籍していた美琴が交渉に行って大丈夫だろうか？

長点上機の理事長は事情を知っているのでまだしも常盤台といえはお堅いかなじだ。

なので当麻は聞いてみたが（ちなみに当麻は常盤台の理事長には会ったことがない）

「大丈夫よ」

けれど心配だったので結局

「お前が言い出しっぺだろオが。お前が行ってこい」

と一方通行に一刀両断され、美琴、当麻で行くことになった。

学舎の園

二人は待ち合わせの時間までかなり余裕があったのでぶらぶらして
いると声をかけられた。

「御坂さ〜ん！」

美琴の後輩で柵川中学の初春飾利と佐天涙子と常盤台中学の白井黒
子だった。

案の定、美琴は黒子に抱きつかれそうになったが当麻らと鍛えた体
で瞬間移動のような驚異的な動きでかわし、手のひらで軽く殴った。

「御坂さんと・・・どちら様ですか？」

「ああ、統括理事会理事長、上条当麻だ」

「アハハ！それ業務用挨拶になってない？」

美琴はいつもの癖で統括理事会理事長と言ってしまった当麻を笑い
つつもフォローするように

「統括理事会理事長補佐官、御坂美琴です」

と業務用の挨拶をする。しばらく三人はポカーンとしていた。

「御坂さん統括理事会に入ってるんですか？」

「ん、まあね。来期から正式に入るんだけど」

しばらく会ってないうちに随分と色々変わったんだなーと思い、少し寂しく思った三人だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7029z/>

angelprincess

2011年12月26日17時51分発行